

社会教育ガイド

1月の公民館事業

■婦人大学・家庭教育学級

合同学習
 期日 1月11日(水)
 時間 午後1時30分
 場所 横越村公民館
 内容 婦人と税・知って得する税金

■新春俳句大会

期日 1月22日(日)
 時間 午前10時
 場所 横越村公民館

地域公民館は昨年七月に設置され、それぞれの特性を生かして活動を展開しています。お互いに活動事例、情報を交換し合い、活動の活性化に役立てようと、公民館関係者四十名が参加して十二月十八日、横越村公民館で

「組織は人であり、人は力で」
 続いて、中川教育長からは、加藤長次さんによる「地域の活性化」について、熱心な意見交換が行われました。

活動の活性化めざし 熱心に研修

— 地域公民館指導者研修会 —



地域公民館の事例発表が行われる

指導者研修会が開かれました。研修会では、最初に市村正横越下公民館長と高橋一夫汎海公民館長から両公民館での活発な活動内容の事例発表があった後、「地域公民館を實踐して」というテーマで、参加者全員によって熱心な意見交換が行われました。



気合いの入った熱戦を繰り広げる

当日は、亀田町剣道連盟の南場昭二郎氏、大倉良雄氏の両教士七段による模範演技のあと、小・中学生の各団体戦と各学年別の個人戦で、熱気あふれる技が競われたほか、模範試合として剣道連盟員による一般親善紅白戦も行われ、見事な競技が披露されました。

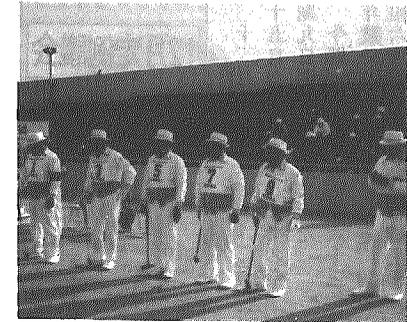
横越で剣道大会 日頃鍛えた技競う

あつて、指導者の活躍が期待されるところである。地域公民館は、地域とともに考え活動を進めてほしい」と全体指導がありました。

午後から、あしたの新潟県を創る運動協会事務局長の石川秀雄氏より、「コミュニティと公民館活動」と題して、「コミュニティとは、住民が連帯協働して自治能力を発揮する地域社会」と述べ、社会教育、地域公民館活動の重要性を強調した。これまでの公民館活動は、ふれあい活動やイベント活動で終わってしまっていた。これからは地域課題を解決する能力をもった住民を育て、地域をデザインする活動を展開することが大切であると講演があり、参加者は真剣に聞き入っていました。

第二回亀田・横越剣道大会が十二月十一日、農村環境改善センターで開かれ、両町村から日頃技を練磨してきた小・中学生など二百名余りが参加して、熱戦を繰り広げました。

「なんでも相談」のご利用を1月20日(金) 午前9時～午後4時 役場村長室 気軽にご利用ください



健闘した選手のみなさん

「いのち輝く長寿社会」をテーマに、長寿社会にふさわしい健康・福祉システムづくりをねらいとした第一回全国健康福祉祭ひょうご大会が、厚生省など主催で十月三十日から四日間兵庫県姫路市で開かれました。そのなかのゲートボール交流大会に県代表として、二本木ゴロゴロチーム



二本木ゴロゴロチームが 全国健康福祉祭ひょうご大会に出場

この大会は、全国から百七十六チーム、約千八百人の選手及び役員等が参加して盛大に行われたもので、「二本木ゴロゴロチーム」は、他の県代表が予選リーグで敗退するなか決勝トーナメント戦に進出する健闘をみせました。



農産物品評会での即売会

十五対七と大差で破り勝ち進んだものの、第三回戦で福山市西チームと対戦し十対十六で惜しくも敗れ、準々決勝進出の夢は消えましたが、選手のみなさんは、最後まで強敵を相手に善戦し練習の成果を十分に発揮してきました。

十二月四日、新潟市鳥屋野総合体育館で第六回新潟県綱引き選手権大会が開かれ、女子の部で小杉マサースが見事準優勝を果たしました。

秋の作品展と 農産物品評会でにぎわう



沢海公民館作品展

十二月三日、四日沢海地区で、農村環境改善センターを会場に秋の作品展と農産物品評会が行われ、両日とも大勢の人が詰めかけ大盛況でした。

《作品展》
 沢海公民館秋の作品展には、保育園児の絵や拓本、手芸、書道などが会場快しと展示されたほか、婦人会などのバザー・不用品のパーゲンセール、豚汁のサービスなど多彩な催しで終日賑わいました。

第6回 新潟県綱引き選手権大会 小杉マサースが準優勝



満身の力を込め綱を引く

沢海地区

協議会に寄付されました。

《農産物品評会》
 沢海園芸生産出荷組合の農産物品評会には、農家が丹精こめて生産した自慢の長芋、ごぼう、里芋などがたくさん展示され、会場を訪れた人たちの目をひいていました。

また、農協婦人部による越冬野菜の即売会も買物客が殺到する人気で、長芋、ごぼうなどが飛ぶように売れていました。

入賞者は次のとおりです。
 ▼村長賞 (長芋) 茅原 吉雄
 ▼農協賞 (ごぼう) 杉本 長生

▼経済連賞 (里芋) 小林 和一郎
 ▼中央青果賞 (キャベツ) 板垣 仁栄

新潟県高齢者 よう歯のコンクール

加藤長次さんが最優秀賞を受賞

平均寿命の伸長に伴い、生活と密接な関連のある歯も長持ちさせていくことが大切となつていますが、さきに行われた六十三年度新潟県高齢者よい歯のコンクールで、横越下加藤長次さん(八十歳)が最優秀賞を受賞しました。

歯で健康な生活を営んでいる高齢者(六十五歳以上)を対象に、今年度から新たに設けられたものであり、加藤さんが第一回最優秀賞に輝いたものです。

加藤さんは、健康そのもので勿論むし歯も全然なく、歯医者とは無縁の生活を送って



表彰を受けた加藤さん

歯は勿論毎日きちんとみがいているそうです。食生活も好き嫌いがなく、年をとっても自分のよい歯での食生活が、八十歳とはとても思えないほど若々しい

健康を保っているのではないのでしょうか。これからも歯を大切に健康な生活を送って頂きたいと思

地区	月日	時間	場所
横越	1月11日(水)	午前8時30分	役場
小杉	1月11日(水)	午後12時	多目的ホール
山形	1月12日(木)	午後5時	多目的ホール
二本木	1月12日(木)	午後5時	多目的ホール

ねてきました。これまでも、六十一年の県綱引き選手権大会初出場で準優勝、六十二年には、農協共済綱引き大会の県大会で優勝を果たし全国大会にも出場するという好成績を挙げています。